

Anti human REVERB α mouse monoclonal antibody

Rev-erb α

| | |
|--------------|--------------------------------|
| 製品コード | PP-A8740A-00 旧コード 2ZA8740AH |
| Clone No. | A8740A |
| Lot. | A-2 |
| 濃度 | 1mg/mL |
| 容量 | 100 μ L |
| Ig class | G2a |
| Nomenclature | NR1D1 |
| Genbank | M24898 |

由来 ヒト REVERB α (2-130 aa) の Baculovirus 発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。

特異性 ヒト REVERB α に特異的に反応する。ヒト REVERB β に反応しない。その他の動物種との交叉反応は未検討。

精製法 硫酸塩析法

溶媒 生理的食塩水(防腐剤として0.1% NaN₃添加)

Application 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

| | |
|------------------|--------------------------|
| Western Blot | 可 参考使用濃度 1 μ g/mL |
| 非還元 Western Blot | 可 参考使用濃度 1 μ g/mL |
| ELISA | 可 参考使用濃度 10 ng/mL |
| 免疫沈降 | 可 参考使用濃度 適宜調製してください |
| Supershift Assay | 未検討 参考使用濃度 - |
| クロマチン免疫沈降 | 未検討 参考使用濃度 - |
| 免疫染色 | 未検討 参考使用濃度 - |

保存方法 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8°Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20°C以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

参考文献

備考 溶媒に含まれるNaN₃は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Nov 10, 2011